

指 導 案

1. 授業者 長野県上田高等学校 音楽科教諭 宮下靖弘
2. 授業日 令和2年10月21日(火) 5時間目(13:45~14:40)
3. 授業場所 上田高校 音楽室
4. 対象クラス 1年3・6組講座 27名(男子13名 女子14名)
5. 題材名 音楽と物語の関係性について～「NHK大河ドラマ」テーマ曲の鑑賞と考察～

6. 生徒の様子

本校の生徒は、東信地区を中心とした広範囲から集まった学習に対する意識・意欲が高く、知的欲求に満ちている生徒が多い。ピアノ教室に通っていた生徒や音楽系クラブ活動での経験を積んだ生徒も多いため、音楽における興味関心も高く感性も豊かであり、殆どの生徒は中学時代には合唱コンクール等の音楽活動でクラスや学年の中心となって活躍した経験も持っている。

音楽の授業を楽しみにしている生徒も多いので、授業者としては音楽の授業が学校生活の中でのオアシス、憩いになるだけでなく、生涯に渡って音楽への興味関心が深まっていく「きっかけ」となるような授業をしたいと考えている。

歌唱活動への自粛ムードがある中で、本講座(1年3・6組)は特に積極的に授業に参加する生徒が多い。コロナ禍でなければ、歌唱活動を存分に味わいながら共に楽しみ、学び合うことができるクラスであろう。だからこそ、音楽における知的欲求をいかに満たすかが問われていると感じながら、学び合いたいと考えている。

7. 題材設定の理由

NHKの「大河ドラマ」は、主人公になる人物は歴史の中で「人気」がある場合が多い。史実とは違う「後者の都合によって塗り替えられた歴史」であったり、「美化されたイメージ」で制作されていたりする場合もあるが、あくまで「ドラマ」であり、良い意味で無責任に物語を楽しむことができる番組であると言える。

また、例年であれば年間を通じて約50回放送される番組であり、放送回数と同じだけテーマ曲も流れている。「大河ドラマ」テーマ曲の多くは演奏時間が約3分間である。その中で主人公の成長や生涯、歴史が動く瞬間・ターニングポイントでの決断等を感じさせるだけでなく、物語の進行に伴いながら臨場感や緊迫感までもが見事に表現されている楽曲であり、作曲者にとっても意欲作であることが伺える。

その楽曲の中から『主人公の人物像や生涯が見えてくるか』や、『同一人物や同じ一族を主人公としたタイトルを比較した時に、それぞれの曲から見える類似性等が見えないか(例:「武田信玄」と「風林火山」)』、その他『ライバル同士と言われた主人公同士のテーマ曲を比較した時に、何か見えてくるものはないか(例:「武田信玄」「風林火山」vs「天地人」,「徳川家康」vs「秀吉」,「義経」vs「平清盛」等)』等々、これらのようなことを比較しながら物語と音楽の融合について興味関心を持つきっかけになればと考え、この題材を設定した。

楽曲を形成するメロディ、リズム、ハーモニーの特徴を見つけながら、主人公のイメージを作曲者がどのように表現しているのかを多角的に味わってみたいと思う。また、この授業を通じて音楽だけでなく、物語や歴史への興味関心も深まることを願っている。

8. 題材の目的

- (1) 主人公とその物語への具体的なイメージを持つ
- (2) 他人が考えたイメージも受け入れながら、楽曲に求めるイメージをグループで形作る
- (3) 実際の楽曲を鑑賞しながら、楽曲を形成している特徴が自分達のイメージとの一致、相違がどれくらいあったかを考察する
- (4) オペラが「総合芸術」と言われることや、映画やドラマ、アニメにおいて音楽が担う役割の大きさを再認識する
- (5) 生徒達がこれから出会う、名作と名曲への興味関心と味わう力を高める

9. 観点別評価基準

- ① 自主的に取り組み、積極的に参加しているか。
- ② 主人公の生涯や生き様、人物像、時代背景、伝説や言い伝え、功績等を掘り下げながら、主人公の具体的なイメージをまとめようとしているか。
- ③ 他人が考えたイメージを受け入れ、理解・共有しようとしているか。
- ④ 主人公のイメージを表現するためには音楽的にどんな方法があるかを想像しながら、実際の楽曲を鑑賞することができるか。
- ⑤ 鑑賞を通じて考えたこと、感じたことを自身のイメージと比較しながら考察しているか。

10. 使用教材

CD「最新版NHK大河ドラマ テーマ音楽全集 1963-2017」
YouTube 動画より

11. 指導計画(計2時間)

- 第1次 物語の主人公の人物像(イメージ)と、イメージに基づいた楽曲の比較や考察(本時)
- 第2次 まとめ

12. 本時のねらい(第2次)

- 〈1〉 主人公をできるだけ掘り下げながら、楽曲に期待する具体的なイメージをまとめる
- 〈2〉 グループでイメージを共有し、楽曲に期待するイメージを形作る
- 〈3〉 考えたイメージと楽曲との相違点、共通点について考察する
- 〈4〉 映画やドラマ、アニメ等において、音楽が担う役割の大きさを認識しながら音楽の魅力を再考察する

13. 学習指導の展開(第1次) ※ YouTube でトラブルが発生した場合はCD音源にチェンジして対応

課程	指導内容と学習活動	指導上の留意点	具体的評価基準
導入	マスクで鼻歌 愛唱歌集・教科書から1~2 曲、校歌 資料配布・「麒麟が来る」鑑賞	コロナ禍であることを意識しながら、久しぶりの歌を楽しむ 鑑賞しながら本日の授業の趣旨説明	
展開	・「真田丸」の鑑賞と感想 ・宮下オススメの曲「独眼竜正宗」「徳川家康」の鑑賞と感想 ・各人物像の掘り下げ ・テーマ曲の鑑賞(比較と考察)	鑑賞しながら考察・情報共有できる雰囲気作りを心掛ける ・本校校歌と真田一族の関係と「真田丸」北信地区は上杉の影響も残る? ・テーマ曲は作曲家にとって特別な一面があるようでもある。“新しい試み”を伴った意欲的な作品も多いことを紹介 ・強いインパクトがある主人公については、作曲者が違ってもそれをイメージさせる音楽的特徴があるかを考察する。実際には「共通点はない」とも言えるが、武田家の『風林火山』という漠然としたイメージには結びつく部分があると言える ・後に繁栄していく一族と滅亡していく一族とで曲の終わり方に違いに注目	主体的な学びがあるか 自ら「発見」しようとする意欲があるか 仲間と意見交換しようとする積極性があるか
まとめ	本時のまとめ	長年に渡って追いつける大河ドラマ。物語の進行・主人公の生涯に沿って演奏され続けるテーマ曲の工夫と魅力に、何を感じたかを各自でまとめる。	

『大河ドラマ』テーマ曲についての考察 年 組 番 前

- ① 1年間(全50話程度)放送される ⇒ 約50回テーマ曲が演奏される
- ② 主人公の劇的な生涯を1年間かけて追い続ける ⇒ 主人公の“成長”、人物像・生き様等のイメージ
- ③ 演奏時間は約3分。その3分間で②を感じさせる曲作りがされている。喜怒哀楽、人生における起承転結を感じられる音楽になっている。

1. 上田高校のスピリットとも言える真田家(校歌2番【関八州の精鋭をここに挫きし英雄の 義心のあとは今もなほ松尾が丘の花と咲く】)を描いた「真田丸」のテーマ曲を聴いての感想

★大河ドラマのテーマ曲は名曲ばかりですが、宮下が特にオススメするテーマ曲はこちら!

独眼竜正宗	オンドマルトノ使用 数ある大河ドラマテーマ曲の中でも特に人気が高い
徳川家康	ドッシリと落ち着いた曲 オーケストラとシンセサイザーの融合
平清盛	栄枯盛衰を最大限に表現 平家から源氏へと時代が変わることを暗示している
利家とまつ	吹奏楽コンクールの自由曲でも取り上げられることが多かった曲
功名が辻	壮大 リズムセクションが効果的 華々しい金管サウンド
北条時宗	インパクトが強い「声」での表現
天地人	華やか 音楽に壮大さとスピード感がある 短い曲の中にハッキリとした起承転結
龍馬伝	声楽からスタート 幕末の激動、価値観の大きな変化を感じさせるインパクトと通じる曲の終止方法も龍馬の死に様を暗示しているようにも感じる
新撰組!	テノールソロ 若々しさがある
花燃ゆ	合唱がメインかと言われるくらいに存在感がある

2. これらの曲を聴いての感想

3. 次の人物に持たれているイメージ(生き様、一般的なイメージ、歴史的史実、功績 等)をまとめよう

武田信玄と上杉謙信

徳川家康(徳川家)と豊臣秀吉(豊臣家)

平家と源氏

4. グループで考察

(1) 「武田信玄」と「風林火山」を例として考察します。作曲家も違い、主人公も同一人物ではないですが、2曲に見られる類似性、それぞれの曲にしか見えない特徴等、気が付いたことを挙げてください。

(2) 主人公がライバルとなる人物同士で曲を比較したとき、音楽から感じられることを挙げてください。

武田家「武田信玄」「風林火山」vs 上杉家「天地人」

平家「平清盛」vs 源氏「義経」

5. まとめ 大河ドラマのテーマ曲について考察し、感じたこと、思ったこと
